

市内の貴重な動植物を調査した 自然環境調査の結果がまとまりました

生物多様性は、人の生活に欠かすことのできない食料や衣料、医薬品など様々な恩恵をもたらしており、人間の活動と密接に関わりを持つことでその多様性を高めてきました。しかし、近年では生活の変化や外来生物の影響によりその多様性が失われつつあります。今回の調査結果でも、在来種では個体数を減らした種も確認されています。また、近年数を増やしている特定外来種も確認されています。



市内の動植物の生息・生育状況を把握し、今後の環境教育との関連や環境保全に関する理解と関心を高めることを目的に、平成30年10月から2年3月までの間に、市民ボランティアの協力のもと自然環境調査を行いました。

調査の手法について

自然環境調査は、生物モニタリング調査と生物専門調査の2種類を行いました。

生物モニタリング調査はボランティア調査員が各自の担当地区を踏査して、調査対象の動植物について確認しました。

生物専門調査は資格を持った調査員が保全地区等を踏査し、生物多様性の保全上重要な動植物が確認された際には、その位置情報の収集を行いました。



調査対象種に関する学習会の様子

植物種類調査の結果

特徴的な結果として、ウチワゴケ・ノジオカトラノオが市内で初めて確認されました。また、八千代市水辺の自然環境調査報告書(2002)の八千代市の要保護植物において絶滅の可能性の高い種である、トモエソウが確認されました。



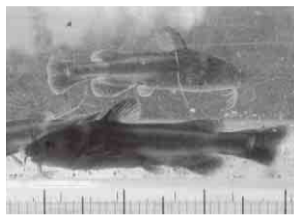
トモエソウ

魚類の調査結果

調査の結果、15種類の魚類が確認され、そのうち7種類が千葉県で保護が必要とされている種をまとめた「千葉県レッドリスト」に

記載されている種でした。特筆すべきは、ヤリタナゴとギバチの2種でした。

ギバチの北総地域での記録は少なく、市内初記録と考えられています。



ギバチ

底生動物の調査結果

調査の結果、54種の底生動物が確認されました。そのうち、7種が「千葉県レッドリスト」に指定された種です。

特筆すべきは、サワガニ・ニホンカワトンボ・コセアカアメンボの3種でした。

サワガニは水路ではなく、僅かな湧水に依存しており、今後の湧水量の減少によっては絶滅の恐れがあります。

ニホンカワトンボは、市の過去の記録に記載が無く、市内初記録と考えられます。

コセアカアメンボは、近年市内での確認はありません。県南部では普通種ですが、八千代市周辺の市町村の記録には記載が無く、県北部では記録の少ない種です。



コセアカアメンボ

生物多様性の保全にご協力をお願いします

今回の調査では、新たに生息が確認された在来種もいたことから、豊かな生物多様性と健全な生態系を次世代に引き継いでいくために、今後とも環境の維持・向上へのご理解とご協力をお願いいたします。

里山楽校に参加しませんか

市内に残る谷津・里山は、山林、水田、畑、沼、池、川などで形づくられています。以前は、薪や炭にするために木を伐採し、肥料用

の落ち葉を集めることが日常的に行われるなど、人々の生活と密接な関わりを持っていました。しかし、都市化や所有者の高齢化が進んだ現在は、人の手が入らなくなることで荒廃が進んでいます。

こうした背景の中、市では、平成22年度に谷津・里山保全計画を策定し、取り組みのひとつとして里山整備ボランティア人材育成講座(里山楽校)を開催しています。里山楽校では、里山整備の知識を深める講座のほか、活動に必要なチェーンソーなどの道具の使い方を体験できます。里山楽校の卒業生は、里山活動団体を結成し、市内の里山で整備を実施していますが、近年では団体構成員の人材不足が問題となってきています。市内に残る貴重な自然、谷津・里山、植物等に興味がある人、里山保全活動に参加しませんか。今年度も、18歳以上で講座終了後に市内で里山整備活動をしたい人を対象に開催します。先着10人。▶日時 11月28日、12月5日、12月19日、1月16日いずれも(土) 10時から15時 ▶場所 市役所及び市内の里山など ▶参加費 2,000円(保険代等) ▶申し込み 電話、メール、FAX、郵送または直接窓口へ(氏名・住所・電話番号・生年月日・性別をお知らせください) 詳しくは環境政策室 ☎421-6767 ☎484-8824へ ☒kankyoul@city.yachiyo.chiba.jpへ



チェーンソー研修の様子

お問い合わせは、
環境政策室 ☎421-6767へ

募集 市営霊園の芝生墓地利用者

芝生墓地の利用者を募集します。詳しくは市役所健康福祉課、市営霊園管理事務所及び各支所・連絡所で配布する「八千代市営霊園芝生墓地利用者募集要項」をご覧ください。同要項は市ホームページでもダウンロードできます。

▼募集する区画数 芝生墓地3区画(返還区画) ▼利用資格 3年1月1日現在で、次の①～④のすべてを満たす人 ①八千代市に1年以上在住で住民登録されている ②世帯主 ③同霊園の利用許可を受けていない ④今までに一度も納骨していない、分骨ではない親族(事実婚を含む配偶者、3親等以内血族、2親等以内姻族)の焼骨を持っている ▼利用許可予定日 3年1月1日(祝) ▼使用料 547,000円 ▼年間管理料 5,280円 ※利用者が市外転出したときは、6,330円(いずれも税込) ▼応募期間 11月16日(月)まで ▼応募方法 募集要項に添付の申込書等を健康福祉課市営霊園担当へ郵送 ※応募多数の場合は抽選となります。(健康福祉課)

募集 八千代市地域公共交通会議の市民委員

地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項などについて協議を行うため、「八千代市地域公共交通会議」の市民委員を募集します。

▼資格 市内在住の成人で、年2～3回程度行う平日昼間の会議に出席でき、本市の審議会などの委員を5つ以上兼ねていない人 ▼募集人数 4人 ▼報償 1回につき7,000円 ▼任期 3年2月1日から2年間 ▼応募方法 11月16日(月)必着で、①任意のA4用紙に住所・氏名(フリガナ)・電話番号・年齢・性別・主な職歴・応募理由・他の審議会になっている人、または過去に審議会委員になったことがある人はその審議会の名称を記入し、②「八千代市の今後の公共交通について」と題した800字程度の作文を添えて、市役所都市計画課へ郵送、持参または市ホームページ「市民委員の公募」から応募。▼選考方法 書類選考 ※応募書類は非公開、返却しません。選考結果は応募者本人に通知します。個人情報保護・管理に十分留意し、選考以外には使用しません。提出書類に虚偽の記載が認められた場合には、委員就任後であっても委嘱を取り消すことがあります。(都市計画課)

「消防フェア2020」開催中止のお知らせ

毎年11月初旬にイオン八千代緑が丘店で開催している消防フェアは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止が決定しました。▼問い合わせ 消防総務課 ☎(459)7802